

食品値上げ再加速

来年の実施早くも7000品目

食品値上げの動きが国アータバンクが21日再加速しています。帝まとめた来年値上げ予

実施日	商品名(メーカー)	内容量	実施前	実施後
1月1日	薄皮つぶあんぱん(山崎製パン)	5個	4個	
1月30日	ハッピーターン(亀田製菓)	108粒	96粒	
2月7日	ポッキーチョコレート(8袋)(江崎グリコ)	1袋当たり7本	1袋当たり6本	
3月1日	キットカット ミニ(ネスレ日本)	13枚	12枚	
3月7日	バックンチョコ(チョコ)(森永製菓)	47粒	43粒	
3月14日	ミルクィ(小箱タイプ)(不二家)	7粒	6粒	

(資料提供: 帝まと)

定の食品は7000品目を超えました。今後も値上げ発表が続き、来月には早くも1万品目を突破する見通しだといえます。原料高や物流費上昇に伴い、再値上げの動きや、価格を変えずに内容量を減らす「実質値上げ」も目立ちます。

来年は1〜4月に7152品目の値上げが予定されています。先月末の集計から2727品目増え、今年1〜4月を5割上回る規模

まで拡大しました。分野別では、今年値上げが相次いだ冷凍食品が多く、しょうゆなどの調味料やワインの価格も上がります。菓子やパンの実質値上げも目に付きましました。

帝国アータの担当者は「特に菓子は気軽に買える価格帯であることが重要。過去の値上げなどでその上限に達している場合は実質値上げを選ぶケースが多い」と指摘します。

来年1月は、山崎製パンが「薄皮つぶあんぱん」などの内容量を5個から4個に減らします。亀田製菓の「ハ

「さんま蒲焼」などニッスイ値上げ
来年3月から
ニッスイは22日、伍詰など家庭用常温食品



ニッスイが来年3月に値上げする伍詰「さんま蒲焼」(同社提供)

50品目の出荷価格を、2023年3月1日納品分から約4〜28%値上げすると発表しました。

伍詰の「さんま蒲焼」瓶詰の「たろこほぐし」のほか、レトルト食品「スンドウプチゲの素 マイルド」などが対象。

常温食品は今年7月に続く値上げで、燃料や物流費に加え、「サンマ」など水産物の価格も高騰している「(広報)」といえます。

データは「ハブル崩壊後では類を見ない記録的な値上げラッシュの年」と位置付けます。集計対象は主要食品会社105社で、品目数は実質値上げを含みません。

「ハブル崩壊後では類を見ない記録的な値上げラッシュの年」と位置付けます。集計対象は主要食品会社105社で、品目数は実質値上げを含みません。